豊かなシニアライフをデザインする

第２回

居場所づくりで元気になる

続けるカギは創意工夫に

仲間づくりが発展してくると、居場所が欲しくなる。仲間と一緒に趣味活動やおしゃべりのできる場が欲しい。週に何回かふらっと通えるところがあればよい。でも通うのにお金がかかるところは遠慮したい…。大体そのようなニーズが出てくるものである。

町内会組織ではないＮＰＯとして取り組みやすい居場所づくりは、まずサロンを開設することであろう。多くの自治体も、シニアのサロン活動へ何らかの支援をしているから、そういう補助金を活用して立ち上げるのがよい。しかし、多くの自治体の補助金が3年とか5年とかの有期限の補助であり、その間に経済的自立を目指すことが求められる。実際、補助金の打ち切りとともにサロン解散ということも稀ではない。補助金をいただいた当初は多くの人に来てほしいのでサロンへの参加費はとらないで運営していたが、補助金が無くなって家賃が払えなくなるので有料にしたところ参加者が途絶えた、ということはよく聞く話である。

サロンの継続のポイントは家賃（会場費）をどう賄うかということに尽きる。だから、継続するにはしっかりとしたコンセプトを持って運営すべきである。当初から家賃を支払うだけの参加費をいただくとか、他に収入となる活動（作品づくり、バザー、食事会、廃品回収、イベント収入など）を地道に続けることが大切である。なお、収入活動は概ねほんの足しになるぐらいのものでしかないが、そこで生まれる創意工夫や新たな人間関係がサロンをさらに活き活きときせるので、是非とも取り組むべきものである。

また、サロン運営には運営する人のリーダーシップが問われるし、運営する人へのバックアップの仕組みも必要である。週2～5回もボランティアでサロンを開設するのは使命感や意気込みだけでは続かない。安定して運営するためには、運営に協力してくれる人を引き付けるリーダーシップが求められる。それを育成するために、社会福祉協議会などで地域活動のリーダーを育てる研修があるが、このようなところにＮＰＯとして関わっていくことが求められていると思う。サロンを開設したい人の相談に乗る、開設した後も愚痴を聞いてあげるだけでもいいし、イベントの発案や協力、チラシづくりやニュースポーツの紹介など技術的な協力もできるだろう。そのような考えから、シーズネットは、札幌市と連携してサロンの立ち上げの協力もしている。

また、サロン同士の交流でお互いの情報交換を行ったり、サロンがたくさん集まってイベントを行い、市民に情報提供することなども勧められる。私どもは札幌市社会福祉協議会と共に「地域の我が家」という取り組みを一昨年まで3年間行ってきた。札幌市で活動するサロンが大きなホールに一堂に会し、サロンで作った作品を売ったり、サロンで行っている歌声喫茶やニュースポーツ（カーリンコンなど）を披露したりして、サロン活動を市民にアピールする場を設けたのである。3年間の平均で、参加してくれたサロンは20団体で、来場者は500名ぐらいである。この日のために、歌の練習をしたり作品を作ったりとサロンにとって「ハレ」の場となったようである。サロンを運営する方が持っている使命感にスポットをあてること、称える場をつくることで、元気をもらえるだろう。

さて、シーズネットは、幸運にもあまりお金をかけずにそれぞれ特徴のある「居場所」を3カ所持っている。1つは、豊平区で開いている「サロンこのはな」である。平日は毎日10時から16時まで開いている。毎日開いているから、様々な催しを行っている（図1）。参加者は季節や催し物の内容などにより変動があるが、延べ人数で月100～180名。実数で30～60名である。1回の参加料は300円。スタッフはもちろん全員シニアのボランティアである。ＵＲ都市機構の協力を得て、ＵＲの団地内の集会所を利用させてもらっている。サロン開設には会場確保が一番のネックであるが、公営団地などでもサロンがあった方が好ましい。集会所の有効活用として団地を運営する機関などに働きかけるという手もある。

2つめは、麻雀専用のサロンである。サークルでは麻雀の人気が一番高く、当初はシーズネットの研修室で行っていたが4卓が限界だったので、会員の方が自宅を開放してくれたのである。1フロアに10卓の麻雀台が並んで、ほぼ毎日、3つのサークルが交代で使用している。

3つめは、私どもの事務所である。研修室、会議室もあるのでサークルも利用しているが、事務所そのものは大体20名近くのボランティアが週2日～毎日通ってくる。法人の運営に携わるボランティアが6名ぐらい、「役割づくり」の事務所的機能を担っている方が8名ぐらい、他にも、毎月発行する機関紙の編集・印刷・郵送のために携わる方が4～6名ぐらい通っている。皆ボランティアで交通費しか支給していないが、皆さん、「私の役割」と心得て足しげく通ってくれている。これも「居場所づくり」の実践であろう。（認定ＮＰＯ法人シーズネット理事長・奥田龍人）

地域交流サロン　このはな　H27年8月の予定表

利用時間　10:00～16:00
※　利用料金の高いものは前日行っています。
※　予定内容は都合により変更になることがあります。

月	火	水	木	金
3 新しいCDで楽しく歌いましょう	4 おしゃべりカフェ 13:30～ 福平先生の初めてのヨガ	5 大人のぬりえ おしゃべりカフェ	6 パッチワーク・こもの 初めての方もどうぞ	7 パソコン学習 おしゃべりカフェ
10 10:00～12:00 スタッフ会議 13:00～ おしゃべりカフェ	11 絵てがみ おしゃべりカフェ	12 10:30～ カーリンコン おしゃべりカフェ	13 お盆休み	14
17 あみもの・こもの 初めての方もどうぞ	18 13:30～ 介護保険・介護予防 お話しを じっくり聞きましょう	19 10:30～ ふまねっと運動 おしゃべりカフェ	20 13:30～ カードゲーム UR御帝機構	21 パソコン学習 おしゃべりカフェ
24 月に一度のカレーでランチ 別途200円	25 パッチワーク・こもの 初めての方もどうぞ 13:30～ 河原先生の折り紙	26 10:00～ グラウンド・ゴルフ おしゃべりカフェ	27 絵てがみ おしゃべりカフェ	28 このはな掲示 コーヒーで涼しいひと時を
31 あみもの・こもの 初めての方もどうぞ	8月13・14日は「サロンこのはな」はお休みです。 暑い毎日クーラーの効いたサロンでおしゃべりしませんか？			

ＮＰＯ法人シーズネット

「サロンこのはな」では毎日何かしらの催しが開催されている